

# 歩行補助カートの実証実験開始

## トヨタテクニカルディベロップメント

### 名商とタッグで「フレイル」予防

トヨタ自動車子会社でシミュレーター制作などを手掛けるトヨタテクニカルディベロップメント（TTDC）、本社豊田市花本町井前1の9、香川佳之社長）は、名古屋商工会議所（名商）と組み、加齢により身体能力が低下した状態「フレイル」を予防するカートの実証実験を開始した。歩行時に補助として活用することで背筋が伸びるなどの効果がある。今後も実証実験を重ね、商品化を目指す。（伊藤綾音）

TTDCは2021年に新規事業を創出する組織を立ち上げ、社内でアイデアを募集。120件ほどのアイデアの中から、フレイル予防カートの開発に取り組みむことが決まった。

フレイル予防カートは、フレイルよりも前段階の「プレフレイル」の状態を使い、フレイルを予防することが目的。フレイルは身

体能力の低下から外出がおっくうになり、さらに弱つていく悪循環を生み出す。プレフレイルの段階で積極的に外出し、健康を維持するためにはフレイル予防カートを活用してほしいという。

高齢者施設から意見を集めるなどして試作。「高齢者として見られたくない」との声を聞き、補助器具に見えないよう、スツーカー

スのような形を採用した。また、歩くときにはキャスター部分を引き出して体重を支え、バスやエスカレーターなどの狭い空間ではコンパクトな形状に切り替えられる。

名商は高齢者施設やデザイナー、実証実験協力企業などの仲介役を務めた。

実証実験は今月、イオンモール熱田（名古屋市中熱田区）に続き名古屋三越星ヶ丘店（名古屋市中千種区）で、来店客が参加する形で行っている。

TTDCの水野由一（ハードウエア技術開発部）プロフェッショナルエキスパートは「高齢者向け製品という意識をなくし、高齢者の抵抗感を和らげるため、荷物の多い子育て世代の女性にも使ってもらいたい」と話している。



実証実験の様子（名古屋三越星ヶ丘店で）

